



## 『ボランティアが盛んです①』

1月27日(日)、大崎町内水面採捕組合(組合長:児島千歳さん)の組合員216人のうち、約半分の100人が、清掃ボランティアを行いました。

ボランティアに集まった人たちは、菱田・益丸・横瀬の3か所に分かれて作業を開始。約2時間の作業で集まったゴミは50袋を超えました。そのほかにも、竹や流木の撤去を行い、海岸は見違えるように綺麗になりました。

また、3月下旬には、今回参加できなかった会員の方々が、拾いきれなかった場所を清掃する予定ということでした。

ボランティアに参加された皆さん、お疲れ様でした。

## 『ボランティアが盛んです②』

2月7日(休)、南九州大崎ロータリークラブ(会長:上村雅彦さん)の会員18人が持留川せせらぎ公園周辺の清掃ボランティアを行いました。

北風の強い中、「寒み!寒み!」と言いながら、枯れ草が生い茂る中からごみを見つけ出しては拾っていました。この活動は、ロータリークラブが取り組んでいる水対策事業の一環で行われたもので、会長の上村さんは「これからも、地域に密着した活動を展開していきたいです」と語られていました。



## 『大崎町の先輩にエール!』

球春を迎えるプロ野球も開幕間近。大崎町出身のプロ野球選手もキャンプ・オープン戦と調整を行い、開幕に向け頑張っています。2月に行われた宮崎県内でのキャンプには、大崎町から大崎ソフトボール少年団が応援に駆けつけ、激励品を渡しました。

大崎ソフトボールスポーツ少年団のOBである広島東洋カープの松山竜平選手(左写真中央・飯隈上出身)は、今年入団したばかりですが、力強いバッティングの新人として注目を集めています。応援に駆けつけた

少年団員と恩師の新留勝郎監督らは、松山選手の痛烈なバッティングに目を見張っていました。また、12月に大崎中学校で「ソフトボール教室」を開いた埼玉西武ライオンズの赤田将吾選手(右写真・中沖出身)も、選手会長としてチームを盛り上げながら俊足を生かした軽快なプレーを見せてくれました。

キラキラと目を輝かせた子ども達は、テレビに映るプロ野球選手を目の前に、色紙とマジックを両手に選手達の周りに群がり、サインや記念写真を求めています。

